



決定版 MRI 完全解説 第2版



著：荒木 力

学研メディカル秀潤社

2014年3月刊行

B5判 704ページ

定価：本体 8,800円（税別）

小生の最も尊敬する先生のお一人である荒木 力先生の決定版 MRI完全解説の第2版が、初版から6年を経て刊行された。第2版ではT1 ρ 、圧縮センシングをはじめ心臓ペースメーカーまで、この6年間で新たに導入された技術で注目を集めたものが網羅されている。そのため、ページ数は700ページを超えた大冊となっており、初版より40ページ以上増えている。

この本は荒木 力先生という臨床の先生が単独で、MRIの物理や化学の理論まで深く突っ込まれ、それをQ&A形式で平易に解説されている驚くべき本である。私を含めて、おそらく多くの臨床医のMRIに対する理解は図や漫画で漠然と理解しているに過ぎ

ないと思うが、この本では敢然と数式を使って解説を試みておられる。当然、数式の部分の詳細は私には判断のしようがないが、数式と併せて図も豊富に使われており、初版を読破した際にはMRIのもやもやした部分が氷解したことをよく覚えている。まさにMRI完全理解といって過言ではない。

近年、若い放射線科医がMRIの基礎理論をほとんど理解していないという声をよく聞く。確かにMRIの原理は難解であり、ブラックボックス化しつつある。実際、日常臨床においてはごく簡単なパターンを理解していれば、それほど読影に困ることはないかもしれない。しかし、ちょっとMRIの世界に踏み込むと、その画像の成り立ちは非常に奥深いことがわかる。その理解において、本書はまたとない道標になるであろう。

最後に、臨床のMRIについて本書ほど完全にMRIの基礎的な事項を詳しく、丁寧に述べられている本はおそらく世界中に存在しない。その意味でこの本が読める我々日本人は幸せかもしれない。しかし今後のMRIの発展のためには是非、英訳して世界中にこれからMRIを勉強する若者に届けてもらいたいものである。

(熊本大学大学院生命科学研究部放射線診断学分野
山下康行)

